

民間で開発、導入された生産性向上技術が、官庁営繕事業において導入、活用されやすくなるよう対応を行う。

## 生産性向上技術の活用

### BIM、情報共有システム等

#### BIM<sup>※1</sup>活用

※1 Building Information Modelling

#### ●BIM活用に係るEIRを適用する設計業務、工事

**原則として全ての新営設計業務及び新営工事において、EIR<sup>※2</sup>を適用。**

※2 Employer's Information Requirements（発注者情報要件）

- ・延べ面積3,000㎡以上の新営設計業務には、**指定項目を設定**。（具体的な実施内容は、受発注者間協議で決定。）  
全ての新営設計業務及び新営工事には、BIM活用を推奨する項目（**推奨項目**）を設定。
- ・BIM伝達会議において工事受注者に**貸与可能な設計BIMデータについて説明、活用する場合には貸与**。

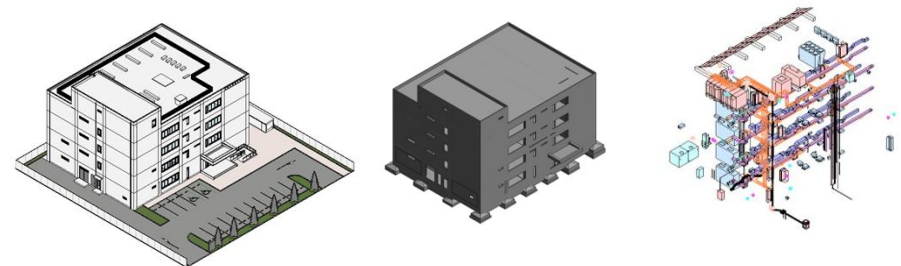
#### ●BIMデータを活用した積算業務（試行）

BIMデータの形状情報や属性情報等から取得した情報に、積算に必要な条件やデータ等を追加して積算数量の算出を行う「**BIM連携積算**」を**試行**。

#### 【参考】

官庁営繕事業の設計業務においてBIMデータを作成する場合のBIMデータの入力情報や設定内容の目安となる「営繕BIMモデル」を作成し、データを公開

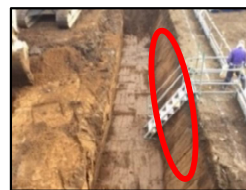
（Revit版：令和6年10月、Archicad版：令和7年9月公開）



# 官庁営繕事業における生産性向上技術の活用方針 (R8.3)

## 施工 ICT建築土工※3の試行

※3 ICT土工の省力化施工技術を建築工事の根切り・土工事に活用するもの。



オープンカット法面整形(60° 3D)



つば堀 床付け(3D: 2D+深さ)



## 施工管理

### デジタル技術を活用した監督検査 (試行)

建設現場における監督職員の検査にデジタル技術を活用。  
従来の目視による確認に代えて、タブレット等で撮影した画像判定で確認。

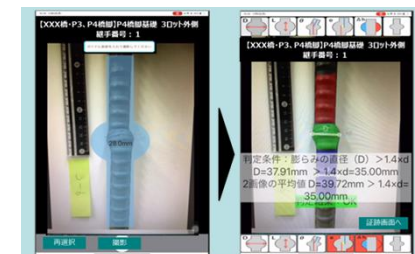
#### ●デジタル配筋検査



対象物を撮影

検査結果  
(判定結果+計測値)

#### ●デジタルガス圧接継手外観検査



対象物を撮影  
(撮影ガイド付き)

検査結果  
(判定結果+計測値)

【他の取組】建設現場の遠隔臨場 (原則全ての営繕工事で活用)

## 設計時の配慮

設計業務委託仕様書において、工事現場の生産性向上に配慮する旨を明記

## 工事の発注時・完成時における評価

### 総合評価落札方式における評価

- S型により発注する新営工事及び改修工事において、生産性向上技術に関する提案を評価。

【入札説明書等で例示している評価対象とする生産性向上技術】

プレキャスト化、プレハブ化、配管等のユニット化、自動化施工※4、BIMの活用、小黒板情報を活用した工事写真アルバムの自動作成

- ※4 ICT建築土工、墨出しロボット、鉄筋結束ロボット、床コンクリート直均し仕上げロボット、追従運搬ロボット、自律運搬ロボット、溶接ロボット、ケーブル配線用延線ロープ敷設ロボット、天井裏配線作業ロボット、装着型作業支援ロボット等

### 入口評価

### 請負工事成績評価における評価

### 出口評価

- 全ての営繕工事において、受注者が入札時又は工事中に生産性向上技術に関する技術提案を行い、履行による効果が確認された場合、請負工事成績評価要領に基づき評価。

#### 自動化施工の例



鉄筋結束ロボット



運搬ロボット



装着型作業支援ロボット